

# JST 理事長 記者説明会

令和2年 11月 19日



科学技術振興機構

# トピックス

令和2年 11月 19日



科学技術振興機構

# COVID-19への対応に向けたJST「プランB」

## 「プランB」とは

プランA（ワクチン・治療薬開発）と並行してコロナウイルスの存在を前提にしつつも、**制限無く移動ができ、自由に人と会える・集える、経済活動ができる社会**を実現

一方、現状の対策では  
人々の行動を制限せざるを得ない

現状

見つける

検温、PCR・抗原・抗体検査

清める

手指消毒、アルコール除菌  
(物体表面除菌)

護る

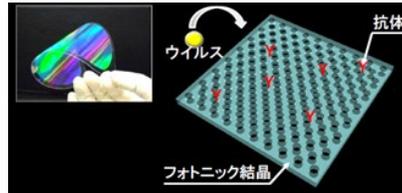
感染者行動検出・隔離、マスク

**科学技術イノベーションによる対策のアップグレードが必要**

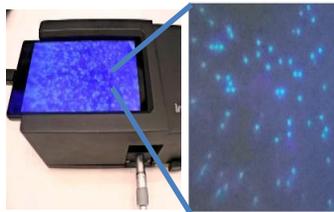
# プランB

## JST 見つける

高感度ウイルス検出技術  
(物理的空間)

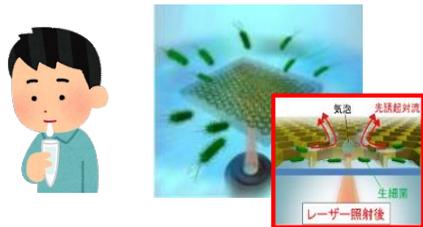


フォトニック結晶シート 研究開発中



デジタルウイルス検出法 研究開発中

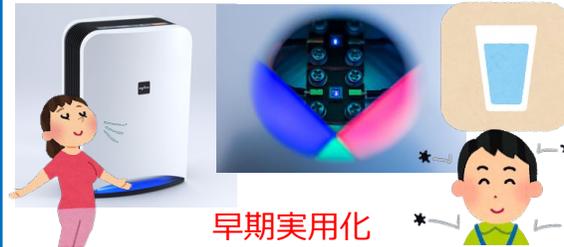
低侵襲高速高感度検出技術



低侵襲ハイスループット光濃縮システム  
研究開発中

## JST 清める

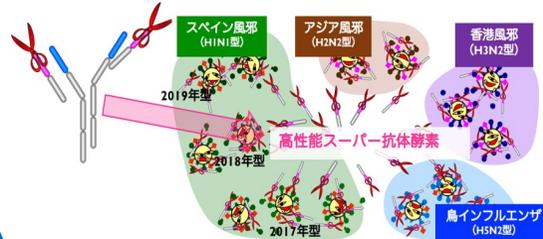
深紫外LED (空気、水、エア  
カーテン、マスク殺菌等)



ダチョウ抗体 (エアコン  
フィルター等への応用)



ウイルス不活化技術 (ス  
ーパー抗体酵素)



研究開発中

## JST 護る

高機能マスク  
(ダチョウ抗体等)



ダチョウ抗体 実用化済

遠隔検診システム



クラウドサービスMeDaCa

# 「プランB」に関する情報発信と意見募集

COVID-19に関する研究開発を更に発展・加速させるためには・・・



JSTが実施している「プランB」に関する研究開発について、他分野の研究者、企業、将来ユーザーになり得る方等と意見を交わし、アイデアを得ることで、研究開発における課題の解決や新たな展開につなげていく

ことが必要。

# 「プランB」等に関する情報発信と意見募集

## ①11月～来年3月の理事長記者説明会で「プランB」に関する研究開発を紹介。

・研究者は研究内容の紹介とともに、**研究を推進する中で直面している課題や必要となる支援について言及**

## ②WEBサイト上での**ご意見募集** ※

・理事長記者説明会で登壇いただいた、COVID-19関連の研究開発に従事する研究者の動画を公開

・研究開発をさらに発展させていくため、他分野の研究者や企業の方々、将来的に技術のユーザーとなり得る方々からの**アイデアやニーズ等を一定期間に募集**

→WEBページは、JST公式WEBサイト上に、11月中旬に公開予定

## ■本日の記者説明会

・ご意見等あればぜひご教示ください

※WEBページイメージ



# 本日の登壇者



原本 英司

●原本 英司（山梨大学大学院 総合研究部附属国際流域環境研究センター 教授）

国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）「下水疫学調査による新型コロナウイルス感染流行状況のリアルタイム監視」研究者

2007年3月 東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 博士課程修了（博士（工学））、  
2007年4月 日本学術振興会 特別研究員（PD）（国立保健医療科学院 水道工学部 協力研究員）、  
2008年9月 山梨大学 国際流域環境研究センター 助教、2015年1月 同 准教授、  
2020年3月 同 教授

# 本日の登壇者



南 豪

●南 豪（東京大学 生産技術研究所 准教授）

国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）「迅速かつ正確な COVID-19検出を可能にする紙基板センサデバイスの開発」研究者

2011年 首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 博士後期課程修了(博士(工学))

同年 米国オハイオ州立ボーリンググリーン大学 博士研究員

2013年 同大学 Research Assistant Professor

2014年 山形大学大学院理工学研究科 助教

2016年 東京大学生産技術研究所 講師、東京大学 卓越研究員

2019年 現職 受賞歴：文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本化学会進歩賞ほか30件



アンソニー・  
ジェノ

●アンソニー・ジェノ

（フランス国立科学研究センター（CNRS）リサーチャー）

国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）「迅速かつ正確な COVID-19検出を可能にする紙基板センサデバイスの開発」研究者

2010年 オックスフォード大学 大学院理学 DNAナノテクノロジー専攻 博士

2011年 日本学術振興会 特別研究員, 生産技術研究所東京大学、藤井研究室

2014年-現在 生産技術研究所東京大学/フランス国立科学研究センターリサーチャー